

科目名	工作実習	英語科目名	Manufacturing practice
開講年度・学期	平成21年度・通年	対象学科・専攻・学年	機械工学科1年
授業形態	実習	必修 or 選択	必修
単位数	3単位	単位種類	履修単位(90h)
担当教員	伊澤 悟、川村壮司	居室(もしくは所属)	機械工学科棟1階
電話	0285-20-2211、20-2201	E-mail	izawa@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 工作機械の基礎的な操作ができること。 2. 工作実習に関する基礎の理解ができること。 			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
課題および提出レポートの内容を設定水準で評価する。			
評価方法			
課題およびレポート提出の内容を評価する。			
授業内容			
班編成のもと、1テーマを6週で完了して年間5テーマの内容を行う。班ごとの担当指導員により実施。			
1. 鍛造作業(基礎、スコヤの製作) (6週)			
2. エンジン分解・組立作業(ガソリンエンジンの分解・組立) (6週) 工具の扱い方、分解・組立作業			
3. 旋盤作業(基礎、段付き軸の製作) (6週)			
4. 仕上げ作業(基礎、アンビルピースの仕上げ) (6週)			
5. 計測および工作基礎(基礎、板金作業) (6週)			
キーワード			
工作、鍛造、溶接、旋盤、仕上げ、計測			
教科書			
作業前に配布されるテキストを使用			
参考書			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 平井三友、和田任弘、塚本晃久著「機械工作法」(コロナ社) 2. 「安全の手引き」(小山高専ものづくり教育研究センター) 			
小山高専の教育方針 ~ との対応			
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
JABEE 基準1の(1)との関係			
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目			
現学年の関連科目			
機械工学基礎			
次年度以降の関連科目			
機械工作法			
連絡事項			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 各テーマ6週ごとにレポートを提出すること。 2. 実習は実技を重んじるため、病気、事故等以外に休まないこと。 (休む場合には、予めその理由を担当教員に連絡すること。) 3. 定期試験は実施しない。 4. 機械系科目の全分野に関わる重要な実習科目である。 			
シラバス作成年月日			
平成21年2月24日			